

2007年3月18日 主日礼拝



石の枕

私の親友の中野牧師が、私の本「イエス様の消しゴム」を評論して下さいました。ある修道士が、ルターがヘブル語聖書をいとも簡単に読んでいるのを見て、「このようにヘブル語が読めるなら、指の一本や二本は惜しくない」と言ったという逸話がある。大川牧師の説教を聞くと、この気持ちが良くわかる。「彼のように説教できれば指の二、三本切れても………」と言いたくなる。友として四十年以上も著者を知る者として、本書は牧師となって四十年たった総集編である気がする。その特徴を五つあげることができると思う。

第一は聖書的事実であること。著者はもともとホーリネスの流れの中で、車田秋次、小林和夫、村上宣道など各師の影響を強く受け、さらに青山学院大学の浅野順一師からも聖書神学の別の面も学び、今日に至るまで学び続けている。その説教は聖書の本文から離れず、知らないうちに奥深くに導くものとなっている。

第二は実践的事実であること。今ここでだれにでもという普遍性、緊急性にも応じることができる。死の問題、人間関係、ビジネス、家庭の諸問題などに答えを出してくれる。

第三は霊的事実であること。常に聖霊の臨在の中で語り、多くの心と身体を癒している。

第四は教育的であること。一般の書物からの引用も多い。神学的なことだけでなく教育的、教養的側面を忘れない。

第五はグローバルであること。巡回伝道者の私は世界中に伝道に行くが、どこでも師の説教が用いられている。牧師のいない教会はビデオやDVDで、最近は衛星放送やインターネットを利用して礼拝している。その数は無数だ。

師の牧する教会に千人を上回る会衆が毎週集まるのは、その説教によるところが大きい。教会に集う人々が、説教をいまや遅しと待っている。彼のいう「潮干狩りの説教」は、彼に与えられた賜物か。彼のように説教しようとしたら、私の指はいくらあっても足りなくなってしまうであろう。(月刊誌「いのちのことば」より引用)

*いくら親友とはいえ、こんなにほめて下さるのは評者が謙遜だからである。

幸いなるかな。平和ならしむる者。

その人は神の子となえられん。
マタイ五の九文語訳

司会 梅津兄 松永兄 小嶋兄
奏楽 三浦兄 多田兄 右澤兄
祈禱

賛美 「御言の光」 (主の栄光宮に)

使徒信条

主の祈り

聖書

詩篇103篇1~5節

マタイによる福音書5章3~12節

音楽

神学生クワイアー

WINGS

メッセージ

「すべて」 倉知契副牧師

「『人間の成熟』と『平和の支点』」

大川従道牧師

賛美

「明日はどんな日か」 (献金)

頌栄

聖歌383番

祝禱

【大和ニュース】

・「春の信徒聖会」は、21日(水・春分の日)午前10時半からです。講師は、新進気鋭の天野弘昌先生。大いにご期待下さい。尚、聖会直後に、CBS卒業式(大野義也兄、永井真由美姉、古川和彦兄、片岡洋一兄)と伝道師任職式(山本土生夫兄)を行います。午後はS・S教師訓練会です。講師は久保庭洋子姉。

・本日、入門、青年、学生、囲碁、ゴス、アン、ハンナ、S教師、送迎、学生ワークショップあり。
・「宴会礼拝」は4時から。ワークショップコンサート。小説教は倉知先生。
・今夕5時から「瀬戸カルバリーチャペル」特集。説教は大川牧師。

・今週の祈禱会は上記の聖会に合流でお休みです。
・福音礼拝は、火曜日2時~3時。説教は小崎先生。「あらゆる危機の脱出ルート」。
・準備祈禱会は、金曜日9時~10時半。説教は大塚伝道師。祈り込みましょう。
・英語礼拝は、土曜日7時20分~8時半。説教はG. Laurie師(FMラジオ持参)。
・来週は教会総会です。代議員は資料を持ってご出席ください。

宿題(祝大) 今週もむさぼるように聖書を読みましょう!
Aコース:ルカ1章~4章 Bコース:申命記31章~ヨシュア記13章